

「自分の可能性を信じて 頑張れば道は開ける」

鵜の池マラソン大会にゲストランナーとして参加した高橋尚子さん。

「スポーツ選手を身近に感じて、子どもたちにも目標にしてほしい」。高橋さんは、出場選手と気さくにふれあいながら、自分の可能性を信じることの大切さなどを語ってくれました。

スポーツ選手を身近に
誰にでも可能性は
広がっている。

まず、このマラソン大会のコースは緑に囲まれていてとても美しいですね。走っていると小鳥のさえずりも聞こえ、気持ちよかったです。そして、皆さんとこんなに近くで触れ合えた。皆さんにとっても良い思い出になってくれたらうれしいです。

皆さんに感じてほしいことは、芸能人とは違って、スポーツ選手がごく身近にいるということ

です。近くで触れたり、こうして話したりすることもできます。「とても遠いところではなく、近くに日の丸を背負った人たちがいる」。そうやって、プロのスポーツ選手を身近に感じてもらい、子どもたちが将来のプロスポーツ選手やオリンピック選手を目指すきっかけになればうれしいです。

▶選手に直接声をかけ、激励する高橋さん



メダリストは子どもころから特別だったわけではありません。私もはじめはそうでした。すべての人に可能性がありません。自分の可能性を信じて、上を目指してほしいです。

『Qちゃん』こと、高橋尚子さんのご紹介

・岐阜県出身。中学から本格的に陸上競技を始め、県立岐阜商業高校、大阪学院大学を経て実業団へ。1998年名古屋国際女子マラソンで初優勝、以来マラソン6連勝を果たす。2000年シドニー五輪で金メダルを獲得し、同年国民栄誉賞を受賞。2001年ベルリンマラソンでは女性として初めて2時間20分を切る世界記録（当時）を樹立する。2008年10月に現役引退を発表。

・公益財団法人日本陸上競技連盟理事、公益財団法人日本オリンピック委員会理事、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アスリート委員会委員長。そのほか、「高橋尚子のスマイル アフリカ プロジェクト」や環境活動、スポーツキャスター、JICAオフィシャルサポーターなどで活躍中。



▲高橋尚子さんの写真が入った、Do・スポーツ 20周年記念碑と共に

Do・スポーツ 20年の足跡

平成8（1996）年、当時の町体育指導委員を中心に、町内のスポーツ愛好家約30人により、総合型地域スポーツクラブ「Do・スポーツ」が結成されました。

スポーツ人口の拡充、スポーツを通したまちづくりなどを目標に活動し、国内の有名選手をまちに招待しての講演会（第一人者招へい事業）をはじめ、ソフトテニスやバレーボールなどのスポーツ大会などを開催してきました。

現在までの第一人者招へい事業で招待した講師の皆さんを、当時の広報ひのに掲載された写真とともに振り返ります。



松野 明美さん
(陸上、1996年)



中村 順司さん
(野球、1998年)



中田 久美さん
(バレー、1999年)



木村 和司さん
(サッカー、2000年)



舞の海さん
(相撲、2001年)



有森 裕子さん
(陸上、2003年)



千葉 真子さん
(陸上、2007年)



谷川 真理さん
(陸上、2009年)



猫 ひろしさん
(芸人、2011年)



デンジャラスさん
(芸人、2013年)



▲ Do・スポーツ 20周年と高橋尚子さん招へいを記念して記念碑を建立

もスポーツの話
題がにぎやかに
なりそうです。
皆さんには、ス
ポーツの楽しさ
や健康への関心
を持っていただき
たいと思います。
今後、Do・ス
ポーツはスポー
ツを通じて地域
に貢献すること
で、「明るく元気
なまちづくり」
に寄与する心意
気を持って取り
組んでいきます。

本年度、鶴の池マラソ
ン大会の招待選手とし
て、「Qちゃん」の愛称
で知られる高橋尚子さん
を迎えました。これは「D
o・スポーツ創立20周年
記念事業」として、関係
者各位のご協力をいただ
き実現したものです。
Do・スポーツは、平

成8年の設立以来20年間
にわたり、総合型地域ス
ポーツクラブとして、各
種スポーツ教室やスポー
ツ大会、鶴の池マラソン
大会の招待選手招へいや
講演会の開催などを行っ
てきました。
リオデジャネイロオリ
ンピック開催など、今年

スポーツを通じて
元気なまちづくりを

Do・スポーツ 会長 森田勝彦